

① 自然にしか出来ないこと
② ひとにしかできないこと

護^[ごみ]美を心に。

株式会社タカノではクリエイティブな環境事業を展開します。
そして、これからの時代を担う若手アーティストたちをサポートします。

<http://www.takano1153.com>

☎ 0120-177-530

本 社 京都府向日市上植野町南淀井17番地
長岡京支店 京都府長岡京市神足落述1番地



エコの森 京都で、 食品廃棄物が 生まれ変わる。

<http://www.economori.com>

●平成21年度食品リサイクル推進環境大臣賞受賞



ORGANIC STATION
京都有機質資源株式会社
KYOTO YUKISHITSUSHIGEN CO.,LTD.



京都三条御幸町角1928Bldg
1F 同時代ギャラリー
ラジオカフェ
B1 カフェアンデパンダン

毎週木曜日
午後6:00~6:45
ONAIR

今月の表紙

佐々木友恵 個展「なにものでもない」 2018.2.20-2.25 / 同時代ギャラリー
私たちは自分の顔や雰囲気ダイレクトに見たり感じたりできないため、鏡やもの、人の反応を通して自らの状態や存在を確認しています。自分以外の「もの」は、すべて思考を映す媒体と解釈すると、ひとつのものに対して人の数だけ解釈が存在し、これは何と誰かが決めようともそれは一時的な基準にすぎず、ものの意味の変容は誰も止めることはできません。それは、刻々と変わる外部環境、社会、時間の流れにともなう物質の変化との絶妙なバランスの中で、弱小な生き物が奇跡的に存在するうえで意識させられざるを得ません。作者にとって漆は、施す過程や質感、とても幅広いことが魅力であります。ただ伝統技法に法って完成させることが目的とはならず、あくまで社会での存在確認のための手段として制作しています。少し立ち止まって観ていただければ幸いです。

きょうと
これからラジオ

京都三条
ラジオカフェ

FM
79.7
MHz

<http://kyotokorekara.jp/top/>

Vol.104

第1 木曜日は環境 きょうとこれからラジオ

パーソナリティ ● 太田航平 / 高野中也 アシスタント ● 大野詞帆

第3 木曜日はスポーツ これスポ



皆さまこんにちは。節分も終わって春を迎えようとしていますが、いっつも寒くてなかなか動きにくいことですね(へへ; 冬季オリンピックも終盤に入り、羽生結弦君の金には日本中が感動しましたね。完全に治っていない、痛み止を飲みながらの演技。並大抵の努力ではなく、他の人が真似のできない努力を積み重ねてこられた賜物ですね。感動と共に学ばせていただきました。2月のゲストには、今秋に開局予定の「FMおとくに」で番組パーソナリティをされる毛戸健嗣さんにお話をいただきました。どんどんコミュニティネットワークが増えることは地域にとっても活性化に繋がりのいいことですね。また〜いよいよJリーグも開幕ですね!! 今年は絶対に「脱J2」悲願です。どのようなドラマが生まれることか.....とっても楽しみです。私たちも引き締めて応援ガンバります。



ゲスト ● 株式会社毛戸製作所 取締役 毛戸健嗣 様
パーソナリティ ● 林幸佳 / 高野尚赫 / 丸山廣記 (京都サンガ広報部)

「これソン」
2月のこれソン

Fuyuco.
「トーストと
コーヒーと
ゆでたまご」

第2 木曜日はミュージック これからミュージック♪

第二週担当の竹上久美子さんが体調不良で欠席の為、急遽パーソナリティーを務めましたミノウラヒロキです! アシスタントでもあるかわはらだゆうま率いるツバクラメ、そのツい思いを聞けました。詳細は以下です。

ツバクラメ11周年ワンマン3/10(土) @京都二条Live House nano
ツバクラメ星屑オーケストラ / ツバクラメ新味 / ツバクラメ元味
梶本ヒロシ(ワゴンズ)

☆food ▶ 企画屋UTAGE ☆tsubame goods ▶ アトリエゴタンダ
私ミノウラヒロキが務めるライブハウスnanoは
3月が14周年月間となりますので、そちらも是非ご確認下さい!
http://livehouse-nano.com/schedule_next.php
手洗いうがい大切です。皆様元気に2月も過ぎて参りましょう~!

ゲスト ● フタガミサヤ 様 パーソナリティ ● 竹上久美子
アシスタント ● ミノウラヒロキ



第4 木曜日はアート WIND UP ART KYOTO アートJO談

本日のゲストは、JARFOのアートプロデューサーである、松原知子さんと、JARFOアートアカデミー校長のマリオさんです。お二人は現在、「伝える」ための媒体の一つとしての、印刷、プリントについて、研究活動を行っている方です。中でも、JARFOのこの取り組みが注目を引くのは、印刷最初期の機械である、謄写印刷機、俗に「ガリ版」と呼ばれる印刷技術と文化の盛衰の歴史を、現代の風潮である、スピードや効率といった視点からだけでなく、最近言われ始めた、「脱・成長」「脱・文明」といった視点から単に「言葉や事象を伝える」手段としてだけでなく「言葉と共に心を」一字一字刻み付けることのできる手作業機械としての意義と価値を再考しようとしていることである。

ゲスト ● JARFO 松原知子 様
JARFO アートアカデミー校長 マリオ 様
パーソナリティ ● 石田 浄 ART FORUM JARFO

